

開講期	2025年度前期、2025年度後期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	3107 プロゼミ [辻]			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	クラス指定必修			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	×
曜日時限	水曜3限				
教室	G218教室				
代表教員	辻 直人				
担当教員	辻 直人				
テーマと到達目標	(1) 自分の考えを発表したり、自らを振り返ったりすることができる。 (2) 他者の意見を聞き、建設的な合意や新たな決着点を見出すことができる。 (3) 書物を的確に読み要約し、その内容について議論することができる。 (4) 大学で学ぶための基礎的な作法（レジュメやレポートの作成、口頭発表）について理解している。				
概要	本年度の辻プロゼミのテーマは「言葉と私」である。特に、以下の3点を追究する。すなわち①自分を語ること・書くこと、②言葉の性質を理解し他者に対話すること、③哲学すること、である。これらの課題を追究しながら、大学での学びの基礎、学ぶ姿勢を獲得することを目指す。前期はプリントと文献を用いて、「言葉」の性質と「私」と言う存在について議論を重ね理解を深める。後期は文献を参考に実際に文章を書いて読み合い、更に「言葉」と「私」についてさらに考察する。「出会い」は人の成長を促す。他者との出会い、自分との出会い、そして本や様々な考えとの出会いなどから、心を豊かにし、考えることの楽しさに気づいてほしい。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション（プロゼミの内容、目的、予定について）、自己紹介。				対面授業
第2回	キャンパスを歩いて何を発見したか、大学生活へどんな期待をしているか、話し合う。				対面授業
第3回	自分を語り、仲間をもっと知ってみよう。				対面授業
第4回	図書館オリエンテーション・本と出会う				対面授業
第5回	「言葉」とは何か、討論				対面授業
第6回	「言葉」とは何か、討論				対面授業
第7回	「言葉」とは何か、討論				対面授業
第8回	「私」について、文献講読と討議				対面授業
第9回	「私」について、文献講読と討議				対面授業
第10回	「私」について、文献講読と討議				対面授業
第11回	「私」について、文献講読と討議				対面授業
第12回	「私」について、文献講読と討議				対面授業
第13回	プロゼミ交流会				対面授業
第14回	「私」について、文献講読と討議				対面授業
第15回	前期の振り返りとまとめ				対面授業
第16回	後期オリエンテーション				対面授業
第17回	発表会に向けての話し合い				対面授業
第18回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表				対面授業
第19回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表				対面授業
第20回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表				対面授業
第21回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表				対面授業
第22回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表				対面授業
第23回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表				対面授業
第24回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表				対面授業

第 2 5 回	テキストの講読と検討、文章執筆と発表、発表会の準備		対面授業
第 2 6 回	発表会の準備		対面授業
第 2 7 回	発表会の準備		対面授業
第 2 8 回	発表会の準備		対面授業
第 2 9 回	プロゼミ発表会への参加		対面授業
第 3 0 回	まとめ、ゼミを通して何を学んだか、語り合う。		対面授業
成績評価の基準	ゼミ活動への積極的な参加態度、レジュメ作成、発表報告態度、討論への関与、レポート作成について総合的に判断する。		
履修にあたっての留意事項	対話や自分を語ること、自分を見つめることを目的としたゼミなので、積極的に活動に関わる学生を期待する。		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	オンライン授業の必要が生じた時は、資料提示型（和光ポータルを使用）で行う。		
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	永井均『<子ども>のための哲学』講談社現代新書、1996年 梅田卓夫『文章表現 四〇〇字からのレッスン』ちくま学芸文庫、2001年	教科書(ISBN)	4-06-149301-9 4-480-08612-9
参考文献	柳田邦男『言葉の力、生きる力』新潮文庫、2002年 暉峻淑子『対話する社会へ』岩波新書、2017年 河野哲也『じぶんで考えじぶんで話せるこどもを育てる哲学レッスン』河出書房、2018年 三浦美沙他『こども哲学ハンドブック』アルパカ、2019年 その他、適時ゼミ中に紹介する。	参考文献(ISBN)	